



広報たはら

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

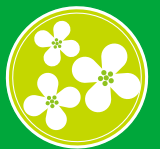
2015
平成27年

12.15

行く年に何思い
来る年に何願う？

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
田原市文化協会	
今月の花「レイコのコレイいね」	
地域の話題	
スクールリポート	
学校生活の一コマを紹介	6
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
渥美郡三町の時代	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 文化協会シルバー人材センター……………2ページ
- 渥美農業高校・今月の花……………3ページ
- 地域の話題(童浦校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

田原市文化協会



広報サポーター
大久保ゆり

「心のゆたかさ」をと生涯学習を求める声が高まり、昭和46年に発足した田原市文化協会。

いきいきと活動している会員の皆さんを取材してきました。

田原市文化協会は、現在114団体が加入し、約1700名が活動しています。春の文協まつりや秋の文化祭では展示や発表を行っており、どなたでもご覧いただけます。今回は、3つのサークルをご紹介します。

当初から加入している「さつき愛好会」は、今年で44



●さつきの手入れするさつき愛好会の方

年目を迎えます。月1回、会長や講師による講習会を開き、市民館にさつきの鉢を持ち寄り季節ごとの手入れを学んでいます。

次に、「新大アラコ窯会」です。会員の岡田孝司さんは、「ランニングしていたら煙が見えてね。気になって走って行ってみたら窯だったよ。それが出会い」と入ったきっかけを語ってくれました。こんなふうに気軽に始められるのいいですね。



●新大アラコ窯会の皆さん

特別な先生はいませんが、経験者がみんなに教えているそうです。薪割りから始まる作業。窯の中は最高1230℃に

もなります。いろいろな友だちができたことも喜びの一つだとか。

最後に、「渥美の木藤舞踏紫会」です。



●木藤舞踏紫会の皆さん

小学生の会員もおり、2年生の鶴飼楓さんは、「週1回の練習が楽しみだよ。

姿勢や手先をぴっとそろえることに気を付けているよ」と舞台の後話してくれました。日本の文化を受け継ぐ子どもたちの存在は頼もしいですね。

私たちの衣食住すべてが文化につながっています。心身共に健康でいるために、多くの方に文化に親しんでもらいたい、そしてそれを生きる力にしてほしいというのが協会の願いです。

家庭に配布された生涯学習情報誌には、さまざまなサークルが載っています。文化協会で、趣味と仲間をみつけませんか。お気軽にお問い合わせください。

▼田原市文化協会
☎ 22局6063

投稿 田原市シルバー人材センター 設立30周年記念事業



●式典で表彰される会員



●ボランティア活動をする会員

田原市シルバー人材センターは、10月26日(月)、設立30周年の記念式典を開催しました。長寿会員や模範会員の表彰、就業機会をご提供いただいた企業などに感謝状を贈呈しました。

10月3日(土)

には、会員79名が参加して、田原福祉センターと渥美福祉センター敷地内の樹木の剪定や草刈り、周辺道路の清掃などのボランティア活動を行いました。

◆シルバー人材センターでは、一緒に働く会員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

▼田原市シルバー人材センター
☎ 23局1438



農業高校の甲子園

日本学校農業クラブ全国大会へ出場

投稿 渥美農業高校

群

馬県で開催された日本学校農業クラブ全国大会に、渥美農業高校の生徒13名が出場しました。

プロジェクト発表会では、市内で収穫された煎茶に利用できない四番茶を製菓材料として活用することで新たな価値を創造する「お茶ぱん」プロジェクトの5名が、愛知県大会、東海プロジェクト大会を勝ち抜き、発表しました。

三脚に平板を載せ、コンパス・巻尺

などを用いて作製する地形図の正確性を競う平板測量競技会では、愛知県大会で最優秀の4名が出場しました。

また、作物や食品など農業に関する実物や写真を見て、品名やそれに関する専門知識を問う農業鑑定競技会へ3名、クラブ員代表者会議へ1名が参加しました。

農業鑑定競技会に出場した、田中天弥君、宮崎由衣さん、山本純平君の3名は優秀賞に入賞しました。

全国大会のレベルの高さも感じましたが、最後まで一生懸命競技に取り組むことができました。これからも農業クラブ活動の経験を生かして、地域の産業に貢献していきたいと思っています。

渥美農業高校 ☎22局0406



● 測量の練習風景

● イベントでお茶ぱんを販売する生徒



● 鑑定競技会の様子



● 鑑定競技会に出場した生徒

今月の花

レイコの花 いね 17

農政課 ☎23局3517

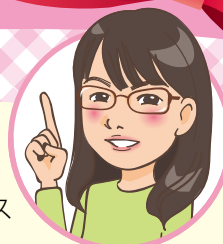
● クリスマスに花で彩りを!



田原市ではクリスマスに彩るポインセチア、シクラメン、ゴールドクレストなどが多く栽培されています。これらはクリスマスに向け、11月～12月上旬に出荷のピークを迎えます。

市役所南庁舎1階では、今月の鉢花をクリスマス仕様に飾り付けて、ご家庭での季節の花の楽しみ方を提案しています。市役所にご来庁の際には、是非ご覧ください。

クリスマスにご家庭でツリーを飾る方は、田原市産の鉢花を加えたり、装飾したりして、花で彩られたクリスマスを楽しんでみてはいかがでしょうか。



12月の 渥美半島の花と鉢花



ストック

(花／出荷時期:11月～4月)

花ことば

永遠の美しさ

花持ちの良い花で、県内1位の生産量、約70万本出荷されています。



シクラメン

(鉢花／出荷時期:9月～2月)

花ことば

内気、はにかみ

冬を彩る花で、県内2位の生産量、約40万鉢出荷されています。



▲校区史を読む住民の姿を想像し、編集会議は熱が入ります



▲校区史用に続々と集まる資料のひとつ(あさり採り／昭和37年)

地域の話題

童浦校区

校区の新たな発展を目指して

校区の課題を解決しよう

「みんなでつくる校区史」に取り組んでいる

童浦校区「コミュニティ協議会」からお問い合わせがきました。



童浦校区は、先人たちのふるさとへの愛着と努力や思いによって、多くの苦難を乗り越えてきました。時には、臨海地の埋め立てのように、未来の発展への期待と引き換えに代々受け継がれたなりわいを転換する決断をしたこともあります。そのかいあって、現在では盛んなコミュニティ活動に加え、子どもたちを支える地域の事業も充実し、活気にあふれた校区となりました。しかし、こうした変化の中で、校区に新たな課題も出てきました。

- 校区のことを知らない新しい住民が増えた。

- 世代交代が進み、校区の歩みを知らない世代が増えた。

- 新旧住民の混在により、連携が図りにくくなった。

これらを解決し、「将来を担う子どもが、自分たちが築き上げた校区に

自分たちの言葉で伝える校区史を

誇りが持てるようにしたい」「市の発展を童浦校区が支えたという校区の熱い思いを次世代につなげたい」という思いから、劇的な変化を遂げた昭和30年以降を中心とした校区史を作ろうという構想が持ち上がりました。

平成26年度から校区会長をはじめ、4人の編集委員が中心となり、市のまちづくりアドバイザーの助言のもと編集をはじめました。校区の皆さんや関係者のご協力によって集められた写真を中心に「見てわかり」「わかりやすい言葉で伝える」校区史を目指しています。月2回ほどの編集会議では、来年度の発刊を目指し、編集にも熱が入ります。

この校区史を見てくれる未来を担う子どもと、区の仲間となる新しい

●片浜海水浴場のにぎわい(昭和30年代末ごろ)



世帯に、校区に愛着と誇りを持つてもらい、喜んでもらえることが、編集委員全員の意欲となっています。

歴史は昔を懐かしむためのものではありません。私たちの足元を見つめ直し、新たな校区としての前進、発展を目指すための礎としてほしいのです。そして校区の発展を目指して、校区一丸となって取り組んでいきます。





市民活動を応援するページ



イベント紹介

フェアトレードから見た国際理解講座

あなたの買い物が世界を変える

●平成27年度田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業

フェアトレードとは、発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動です。この『フェアトレード』と、『買い物』をテーマにした講座をワークショップ形式で行います。これは、いろいろな角度からテーマを深めていく「楽しくて、ちょっと違う考え方・発見ゲーム」のような講座です。ご期待ください！

また、開催日の翌日1月24日(日)には、第9回しみんのひろば会場でフェアトレード・フェアを開催します。

日時：H28 / 1 / 23 13:00 ~ 16:00

場所：田原文化会館 2階 202・203 会議室

講師：平野木恵氏（愛知学院大学・講師）

定員：40名（中学生以上／先着順）

参加料：600円（当日、ご持参ください）

申し込み：電話またはメールにて（メールの場合は氏名、電話番号を明記）

主催：NPO法人たはら広場

後援：NPO法人たはら国際交流協会、あつみNPOネットワーク

▶NPO法人たはら広場 ☎080-6955-2167（小澤）✉taharahiroba@ezweb.ne.jp



▲講師の平野木恵さん

イベント紹介

第9回しみんのひろば

生かそう市民の力～持続可能なまちづくりに向けて～

●平成27年度市民提案型委託制度採択事業



【日時】 H28 / 1 / 24 10:00 ~ 15:00

【場所】 田原文化会館文化ホール・多目的ホールほか

【内容】 活動紹介パネル展示、バザー、スタンプラリー
歌、太鼓、ダンス など

「しみんのひろば」は、田原市内で市民活動やボランティア活動を行う団体が、日々の活動を市民の皆さんに紹介したり、他の団体と交流したりすることで、まちづくりに取り組む市民の力を高めていくことを目的としたイベントです。イベントを企画運営する、しみんのひろば運営委員会では、“市民による市民のための”市民活動を、多くの皆さんと分かち合えるよう、着々と準備しています。

ぜひ、会場で市民活動に触れ、あなたもまちづくりについて考えてみましょう！

お問い合わせ

しみんのひろば運営委員会（委員長：鈴木） ☎090-9123-7983

しみんのひろば運営委員会事務局（市民協働課） 23局 3504

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111（内線 812）※開設時間のみ

FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

✿ SCHOOL REPORT 87

学校生活の
一コマを紹介

今回は、友好都市アメリカ・インディアナ州ギブソン郡およびプリンスストンを訪れた中学生海外派遣団の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

中学生海外派遣(アメリカ・インディアナ州ギブソン郡・プリンスストン市)



アメリカの文化や人の温かさに触れ、交流を深めた8日間

9月25日(金)～10月2日(金)の8日間、市内の中学校3年生10名と教職員3名が、田原市の友好都市であるアメリカ合衆国インディアナ州ギブソン郡およびプリンスストンを訪問しました。

不安と期待が入り混じっていた生徒たち。しかし、笑顔で迎えてくれたホストファミリーを見ると、自然と笑顔になっていました。ある生徒が訪れた家には、テニスやバスケットボールを楽しめるスペースや、釣りやカヌーを楽しめる池まであり、大自然の中で、時間がゆったりと流れている感じがした。異国からの生徒を温かく迎え、自然に寄り添ってくれる懐の深さは、こんな環境の中で暮らしているからでしょう。

訪れたハイスクールで一番強く感じたのは、自由な雰囲気の中で、個性を生かす教育がなされていることです。授業では多くの生徒に意見を求め、それをつなぎ合わせる形で進められていました。生徒全員にノートパソコンが与えられ、学習を行っていました。古い考えや制度にとらわれず常に最先端の教育を行っていることで、IT力や豊かな発想力が育つのだと思いました。田原市の生徒たちは、美術で一緒にデッサンをしたり、音楽でピアノを弾いたり、楽しそうに授業に参加しました。

ホームステイ先では、馬に乗せてもらったり、遊園地やショッピングに連れて行ってもらったりと、さまざまな体験をしました。生徒たちは、自分の家族のことを話したり、日本の文化を紹介したりしました。折り紙と習字を紹介した生徒は、日本の文化に興味を持ってくれたことがうれしかったそうです。

日曜日の夜には、ホストファミリーと日本の生徒・先生全員で、クックアウト(野外料理パーティー)を行い、一緒に料理やスポーツをしながら交流を深めました。

ホストファミリーとの別れの朝。生徒たちは、抱き合ったり、自分の言葉で感謝の気持ちを懸命に伝えたりしていました。そして、たくさんのプレゼントやメッセージをもらい、思い出と感動を胸いっぱい詰めて、バスに乗りました。

生徒たちは、今回の海外派遣を通して、アメリカの文化や人の温かさに触れ、いろいろな見方や価値観に気付くことができました。この体験で学んだことや感じたことを学校で広め、田原市の生徒が、より国際理解・国際交流に興味を持つことを期待しています。



●ホストファミリーとともに



●ハイスクールの授業



●折り紙を教える生徒



●プリンスストン市庁舎前で記念撮影

11月16日【月】

この道57年！

「現代の名工」に



▲川口さん（写真中央）は、全国建具展示会および技能グランプリ（建具職種）において、いずれも最高賞（内閣総理大臣賞、第一位入賞）を受賞しています

11月25日【水】

地域づくりに貢献

愛知県表彰！



▲松井会長（前列左）と山下市長（前列右）、会員の皆さん（後列）

11月12日【木】

火の元確認！

火の用心！



▲沿道で元気よく「火の用心！」と呼びかける園児たち【写真は福江保育園】

ベジエール渥美の

野菜 de しあわせ

4



今回は、田原市でたくさん栽培されている、今が旬のブロッコリーの空揚げをご紹介します。1株まるごと使えて、とっても簡単、おいしいレシピです。ぜひ、お試しください。

ブロッコリーには、野菜から取れるほぼすべてのビタミンがたっぷり含まれており、ビタミンCはいちこの約2倍です。

さらに、がん予防効果の高いβカロテンやビタミンEの含有量も豊富なうえ、糖尿病の予防効果があるクロム、血圧を下げる働きのあるカリウム、貧血を予防する鉄、カルシウムとカルシウムの摂取を助けるビタミンKなどを多く含んでいる栄養満点の野菜です。日々の食事に取り入れ、生活習慣病の予防に役立てましょう。



ホクホク！ブロッコリーの空揚げ【材料4人分】

●ブロッコリー1株 ●卵1個 ●醤油大さじ2 ●薄力粉大さじ3 ●片栗粉大さじ3 ●塩、こしょう少々 ●油（揚げ用）
【レシピ作成 山本香奈】

つくり方

①ブロッコリーのつぼみの部分を適当な大きさにカットし、水で洗い軽く水気を取る。②茎の部分は枝を切り落とし、厚めに皮をむき、5ミリくらいの短冊切りにする。

③卵、醤油、薄力粉、片栗粉、塩、こしょうをボールに入れて混ぜ合わせる。ダマになっても大丈夫。

④切っておいたブロッコリーのつぼみと茎を③のボールに入れ、衣を絡め、熱した油でカラッと揚げる。

▼農政課

☎23局3517 FAX22局3817

キャベヅウ・からいんの 渥美半島きらり☆ゆるさんぽ

9



渥美半島☆観光大使のキャベヅウとかいくんが、きらりっ！と光る田原市の観光資源をご紹介します。

今回は、冬に楽しめるオススメスポットを紹介するきゃべ☆



★イチゴ狩り

渥美半島では、夏のメロン狩りに加え、冬から春にかけてはイチゴ狩りを楽しむことができます。

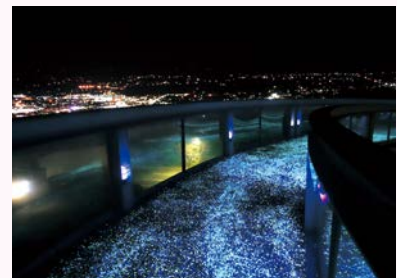


市内12カ所で12月上旬から5月下旬までイチゴ狩りをするので、き、ジューシーで甘い章姫、サイズが大きく深い味わいが楽しめる紅ほっぺ、穏やかな酸味と香りが特徴のかおり野など農園によって違ったいちごを楽しめます。予約制、予約優先の農園もあるので、イチゴ狩りに出かける前に一度電話で確認していただくことをお勧めします。

★蔵王山展望台

昼は360度の大パノラマ、夜は

夜景100選に選ばれた夜景と、四季に合わせた照明の演出「光のアート」が楽しめます。



12月から1月にかけてのこの時期は「ウインターバージョン」で、冬の澄みきった青空をモチーフとしてライトアップを行っています。

また、天気が良ければ、元旦のご来光も見物です。

1月からは、菜の花まつりが始まるきゃべ。冬の渥美半島を楽しんでほしいきゃべ☆



◎キャベヅウとかいくんのホームページもよろしくきゃべ☆

http://www.city.tahara.aichi.jp/

▼商工観光課

☎23局3522 FAX22局3817

景観ってなあに？

vol.10

▶街づくり推進課 ☎23局3535

●田原中部地区で景観まちづくりがスタート！

田原城跡など歴史的景観を有する田原中部地区。田原市景観基本計画において、景観重点整備地区候補地として田原城跡周辺と三河田原駅周辺の2カ所が設定されており、今年度から景観まちづくりの検討が始まりました。

景観まちづくりの第1弾として、8月27日(木)に、田原中部地区「歴史を学ぶ会」を開催し、田原城下町や田原祭りなど地区の歴史について学びました。



●第1回検討会の様子

また、地域住民の方にご参加いただき、田原中

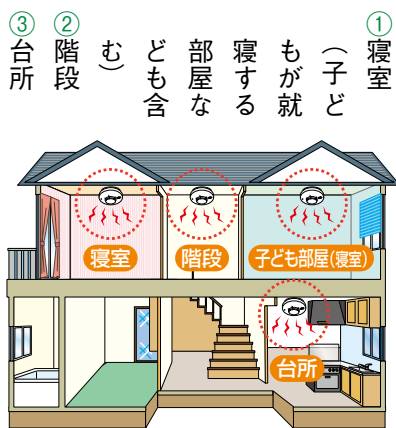
部地区景観まちづくり検討会を立ち上げ、10月1日(木)の第1回検討会では、地域で守りたい良い景観・誇れる景観などについて検討しました。

11月6日(金)には、第2回検討会として犬山城下町を視察するなど、景観を生かしたまちづくりの検討を進めています。

歴史を学ぶ会や第1回検討会の様子については、田原中部地区に回覧でお知らせしましたが、今後も検討会の内容などについて、随時回覧などでお知らせしていく予定です。



●犬山城下町の視察の様子



◆どこに設置するの？

住宅火災による死者数は急増しており、その半数以上が高齢者です。原因としては、約6割が逃げ遅れによるもので、少しでも早く火災の発生に気付けば助かる可能性が高くなります。

◆なぜ設置が必要なの？

田原市では、すべての住宅に「煙式」の住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。皆さんの自宅では設置していますか。今回は、住宅用火災警報器をご紹介します。

◆どこで購入すればいいの？

防災機器販売店、家電量販店、ホームセンターなどで取り扱っています。

◆手入れの必要はあるの？

・電池タイプは電池交換を忘れない。

・定期的に作動するか確認しましょう。

◆確認はどうすればいいの？

ボタンを押す、またはひもを引くことにより、音が出るなどの反応があるかを確認します。



反応がない場合は電池が切れていたり、故障していたりする可能性があります。

※悪質な訪問販売などにはご注意ください。消防署や市役所が訪問販売することはありません。

▼防災対策課 ☎23局3548

しろちゃん 防災知恵袋 21

住宅用火災警報器





募集

WANTED

田原市臨時職員 (渥美郷土資料館企画展監視員)

▼募集人員Ⅱ7名程度 ▼対象Ⅱ健康な方 ▼採用期間Ⅱ平成28年1月31日(日)～3月13日(日) ▼勤務場所Ⅱ渥美郷土資料館 ▼勤務内容Ⅱ展示室監視ほか ▼勤務形態Ⅱ午前9時～午後1時と午後1時～5時(交代勤務)／月曜日を除く ▼賃金Ⅱ時給850円 ▼選考方法Ⅱ応募者多数の場合は、書類選考後、面接(期日など詳細は後日通知) ▼申し込みⅡ平成28年1月10日(日)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入のうえ直接提出(郵送不可)

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX22局2028

第2回ユースアドバイザー 講習会

子ども・若者を理解し、支援するための講習会を開催します。

▼対象Ⅱニートやひきこもり、不登校、発達障害など身近に悩みを抱える若者がいる方、関心のある方

▼日時Ⅱ平成28年1月13日(水)午後1時30分～3時30分 ▼場所Ⅱ田原福祉センター大会議室 ▼テーマⅡ地域が安心・安全な場となるために「誰もが自己実現できる地域創り」

不登校やひきこもりの事例を通して考える▼講師Ⅱ野尻紀恵氏(日本福祉大学准教授) ▼定員Ⅱ60名(先着順) ▼受講料Ⅱ無料 ▼申し込みⅡ平成28年1月5日(火)までに電話にて

▼文化生涯学習課
☎23局3635 FAX22局3811

冬のウォーキング

▼対象Ⅱ小学生以上(小学生は保護者同伴) ▼日時Ⅱ平成28年1月24日(日)午前9時～正午ごろ(受付開始／午前8時30分) ▼内容Ⅱ赤羽

根市民センター周辺約6.5kmをウォーキング▼集合場所Ⅱ赤羽根市民センター ▼参加料Ⅱ100円 ▼申し込みⅡ平成28年1月13日(水)までに、スポーツ課・田原／赤羽根文化会館・渥美運動公園にある申込用紙に必要事項を記入のうえ、用紙配布先に提出、またはFAXにて(住所氏名・生年月日・電話番号を明記) ▼スポーツ課
☎23局3531 FAX22局3811



生活

Life

下水道を正しく使おう

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。

◆下水道を使う区域でまだ接続をしていない方は、接続にご協力ください。

下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。

◆水洗便器に、トイレットペーパー以外のものを流さないでください。

▼下水道課
☎23局3525 FAX22局3184

青少年の非行・被害防止に 取り組む冬の運動

イベントの多い年末年始を迎えるにあたり、解放感から青少年が有害な環境に接する機会が多くなること



が予想されます。青少年の非行・被害を防止するため、地域、家庭、学校が一体となり、青少年の健全な育成に取り組みましょう。

▼スローガンⅡ「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」 ▼期間Ⅱ12月20日(日)～平成28年1月10日(日) ▼実施事項Ⅱパトロール、啓発活動、インターネット適切利用の推進ほか ▼文化生涯学習課
☎23局3635 FAX22局3811

運転免許証返納支援の終了について

田原市では、自動車運転免許証の自主返納を支援するため、返納した方に対し住民基本台帳カード交付手数料の無料化、返納記念品の贈呈を行っています。

マイナンバー制度開始により、12月28日をもって住民基本台帳カードの交付が終了となることから、これらの支援を終了します。

▼市民協働課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

豊橋・田原 産直・農業体験 スタンプラリー

▼期間 12月19日(土)～平成28年2

入札参加資格の 定時申請の受付が始まります

平成28年度および平成29年度の2カ年度に、田原市が発注する建設工事、業務委託、物品購入などの入札に参加を希望される業者の方の定時申請の受付が始まります。

▶受付期間

平成28年1月4日(月)～2月15日(月)

申請は、インターネットを利用した電子申請による登録となりますので、ICカード登録などの準備をお願いします。申請方法などに関する詳細については、市ホームページをご覧ください。

▶契約検査課

☎ 23局3505 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

月21日(日) ▼内容

あぐりパーク食彩村、サンテパルクたはら、JA豊橋・JA愛知みなみの販売店などにあるスタンプを集めて応募すると、抽選で賞品が当たります。

▼賞品 地元産牛肉、農産物セット、商品券、ペア食事券など ▼応募方法 平成28年2月26日(金)までに3つのスタンプを集めた応募用紙を持参または郵送にて ▼応募用紙 豊橋・田原市役所のほか、各リリースポットで配布

▼豊橋田原広域農業推進会議事務局(豊橋市役所農業企画課内)
(〒440-8501住所不要)
☎ (0532) 51局2464



●あぐりパーク食彩村

ハローワーク豊橋「マザーズコーナー」

ハローワーク豊橋では、仕事と子育てを両立したい方を対象に「マザーズコーナー」を設置し、就職支援や保育関連の情報提供を行っています。お子さん連れでも安心してご利用いただけますので、ぜひご相談ください。

▼対象 12歳未満のお子さんを子育て中の方 ▼日時 月曜～金曜(祝日・年末年始は除く) 午前8時30分～午後5時 ▼場所 豊橋公共職業安定所 ▼申し込み 電話にて

▼豊橋公共職業安定所
☎ (0532) 52局7193

豊川保健所難病医療相談会

▼対象 神経難病患者および家族

▼日時 平成28年2月10日(水) 午後2時～4時 ▼場所 田原福祉センター3階大会議室 ▼内容

①【講話】病気の上手なつきあい方(仮題)【講師】熱田直樹氏(名古屋大学医学部附属病院神経内科専門医) ②個別医療相談(1名10分/3名程度) ③座談会 ▼申し込み 平成28年2月1日(月)までに電話にて

▼豊川保健所健康支援課
☎ (0533) 86局3189

小児救急電話相談#80000

夜間に子どもの急病で困ったとき、看護師(難しい事例は小児科医)による電話相談が受けられます。

▼相談日 毎日 ▼受付時間 午後7時～翌朝8時

#80000(短縮番号)または
☎ (052) 962局9900

▼健康課

☎ 23局3515 FAX 23局3810

時間外電話相談

育児もしもしキャッチ

市役所閉庁後、育児相談、母と子の健康に関する相談など、専門相談員による電話相談が受けられます。

▼相談日 火～土曜日(祝日、年末年始を除く) ▼受付時間 午後5時～9時

育児もしもしキャッチ

☎ (0562) 43局0555
【あいち小児保健医療総合センター】

▼健康課

☎ 23局3515 FAX 23局3810

渥美郡三町の時代



郷土史編さん室 ☎36局6503

上町商店街から セントファールに

セントファールの敷地内の一部にかつて上町商店街がありました。

江戸時代から田原のメインストリートである本町と並んで、上町は、田原の商業の中心地でした。大正時代には銀行、芸妓置屋、銭湯、寄席などもありました。

昭和20年代には、江戸・明治の創業である店も含めて呉服店、衣料品店、金物店、陶磁器店、玩具店、酒店、電気



●田原町商工案内(昭和32年)

店など会員数14名からなる上町発展会が結成されました。ネオン灯の設置、のど自慢大会、大売り出しでは各店のオート三輪車を宣伝カーに仕立て渥美郡内を巡回して、渥美半島の中核的な商店街となりました。

好景氣を迎えた昭和38年、隣接地に渥美半島で最初のセルフサービス方式の白木屋スーパーマーケットが開店しました。昭和40年代には、簡易アーケードも設置され、買い物客、通勤通学者、渥美病院への通院者などでにぎわい、当時の人口3万人弱の町としては大いに栄えた商店街でした。

昭和50年代に入るとトヨタ自動車などの田原臨海工業用地への企業進出により、田原町の人口は急速に増

加。道路が整備された

ことなども

あり、昭和

56年、田原

シヨッピン

グセンター

(パオ)が

開店しまし

た。車社会

の到来とな

り、生活行動圏もひろがり、品ぞろ

え豊富な大型店が消費者の支持を集

めました。隣接する豊橋市において

も大型店が充実してきました。

地元商店での購買率が下がり、豊

橋商業圏などへの消費購買の流出が

進む中、駐車場不足など車社会への

対応が遅れた上町商店

街は、商業力の衰退が

みられるようになりま

した。

このような状況のも

と、地域住民から市街

地再開発に対する要求

が高まり、都市計画道

路田原駅前通り線の計

画決定をふまえ、昭和



●セントファールと駅前通り線

53年2月に田原町市街地再開発推進協議会が発足しました。昭和63年8月には地権者41名による田原中央地区市街地再開発準備組合が設立され、組合施工での取り組みが始まりました。

一部反対者もあり事業主体を町に切り替え、中心市街地活性化法による国からの助成を受け、平成16年7月18日に、フードオアシスあつみなど15店舗からなる複合商業施設セントファールがオープンし、現在に至っています。

これに併せ周辺の道路も拡幅整備され、平成25年10月27日に田原駅前通り線が開通しました。

(執筆委員・山本正樹)

今月の「表紙」

▼冷たい空気が漂う寒い日、夜空を見上げると、無数の星がきらめく空間が広がっています。久しぶりにしつかり眺めた夜空に驚いたことは、半島上空を通過する航空機の多さと、星々の移動するのが思いのほか早いこと。来年が皆さんにとって星のように輝く一年になりますように(H)

【表紙の写真】新鮎川橋から眺める星空(和地町)